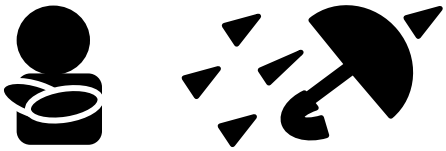
誰にも避難をためらわせないために！
We make no one hesitate at refuge！

本校の防災テーマとその背景

茨城県立結城特別支援学校



１　平成２７関東・東北豪雨の水害で得た教訓

平成２７年９月１０日から１１日にかけて，本校は避難所を開設しました。それまでに，避難所開設訓練を行っていたこともあり，職員が避難所のおおまかなイメージを共有していたので，比較的スムーズに避難所を開設できました。結城市内に開設された避難所の中で，一番適切に運営されていたと称賛を受けました。

しかし，同時に在籍する生徒とその保護者に避難をためらわせたという苦い教訓を得ました。

当時，本校は体育館のみを一般避難所として開設・運営していました。保護者は「一般避難所では他の人に迷惑をかける」，「大勢の人々と一緒だとパニックを起こしてしまう」という理由から，避難をあきらめ，浸水地域の自宅に戻り，不安と恐怖の一夜を過ごしたということです。

当時，避難所に詰めていた本校職員は保護者から申し出があれば，すぐに別教室を開放できたそうである。

しかし，そうはならなかった。特別支援学校に開設された避難所で起きたことは，どこの避難所でも起こり得ることです。

本校は苦く，そして貴重な教訓を得ました。

２　本校の防災テーマ「誰にも避難をためらわせないために」

水害後，福祉避難所開設訓練，避難者トリアージ訓練，福祉避難スペース（室）開設訓練などを実施してきました。失敗することのほうが多く批判を受けることもありましたが，その中からいろいろなアイディアも生まれてきました。

「誰にも避難をためらわせないために」をテーマに掲げ，そのために何が必要なのかを追求することが本校の防災活動の背景です。